

## 日越外交関係樹立45周年記念プロジェクト オンライン展覧会

「日本とベトナム：きざまれた交流の軌跡をたどる」

オープニングセレモニー挨拶（平成30年9月20日）

- ・ チェウ・ヴァン・クオン内務副大臣,
- ・ ダン・タイン・トゥン 内務省国家アーカイブズ局長,
- ・ ご列席の皆様,

●オンライン展覧会開催の実現ご尽力いただいた日越両国関係者の皆様に感謝申し上げますとともに、日本政府を代表し、一言ご挨拶申し上げます。

●先ほどの加藤丈夫（たけお）国立公文書館長からのビデオ・メッセージにもあったとおり、本オンライン展覧会は、昨年9月に日本の国立公文書館とベトナムの国家アーカイブズ局が署名した協力覚書に基づく最初のプロジェクトです。国立公文書館にとって、海外の国立公文書館と長期的視野に立った協力関係を結ぶのは初めてのことだそうです。本日午後、日本においても公開記念式典が開催さ

れ、多くの方が参加予定です。

●1973年9月21日、日本とベトナムの間に外交関係が樹立されました。本2018年、日越両国において、170を超える記念事業が開催されています。この記念すべき年に、日越両国の積み重ねてきた交流の軌跡を歴史的資料に基づきながら紐解く「オンライン展覧会」が開催されることは、「日越関係の過去を振り返り、現代を見つめ、そして未来を考える」上で非常に意義深いことと考えます。

●現代は過去の上に成り立っています。未来は現代から生まれます。人々が、将来を考えるためには、過去と現在の記録を見ることも重要です。公文書館は、国民が正しい歴史を知り、未来の在り方を考える上で非常に重要な役割を担っています。

●日本とベトナムの関係は、「広範な戦略的パートナー」としてあらゆる分野で緊密化しており、これまでで最高とも言われています。

●実際、政治安全保障分野では、間断なき両国指導者間の交流を通じ、強い信頼関係が形成されています。また、日越両国は多くの「戦略的利益」を共有し、両国の連携は、地域の平和と安定にとって益々重要となっています。

●経済分野においても、日本企業の投資や進出企業数は着実に増加し、昨年、日本の投資は91億ドルを記録し、国別一位でした。ベトナムの持続的成長は、日本にとっても重要です。日本は投資のみならず、質の高いインフラ整備、人材育成、気候変動対策に重点を置いて協力を進めたい意向です。

●文化面では、日越の大学間交流及びベトナムにおける日本語学習者の増加に加え、日越両首脳の合意の下設立された日越大学が、三年目を迎えています。

●このように幅広い分野で日越協力が進展する中、今回、新たに日本の「国立公文書館」とベトナムの「国家アーカイブズ局」との協力が「オンライン展覧会」として形になりました。心から歓迎した

いと思います。

●最後に、皆様の御健勝、本展示会の成功、日越関係の更なる発展を祈念し、私の挨拶とさせていただきます。

ありがとうございました。(了)